

第3次米原市総合計画

基本構想への意見と回答

1. 基本構想案に関する意見と対応案

	意 見	回 答
①	・基本構想案を2章立にしていることについては特に問題はないかと思いますが、第1章を「序章」としている点については、いささか違和感を覚えます。第1章の内容からしますと、「策定にあたって」といった表現の方がよいかと思われそうですが、いかがでしょうか。	・ご意見を踏まえ、第1章のタイトルは「計画策定の背景、現状と課題」に修正します。
②	・P.1, 2, 4, 8, 10, 12, 15, 16, 18, の左上に記載されている「第1章」「第2章」は必要でしょうか？	・デザインとして章を記載しておりますが、全体的なデザインについては印刷段階で調整を行う予定です。
③	・（ア）10年後の人口減少、少子高齢化社会の到来を見据えますと、10年先のあるべき姿を描き、今から取り組むべきこと、中長期的に検討すべきことなどをバックキャスト（逆算）で議論すべきことが必要である（これについてはp.2の「策定のポイント」で指摘されている）が、それと同時に、現役世代が今の8割程度になる「8がけの社会」に向け、行政サービスを上手にスリム化する「スマートシュリンク（賢く縮む）」が必要かと思えます。もしこれを盛り込むとするならば、p.2の「策定のポイント」のところか、p.12の「5. 今後のまちづくりの主な課題」の「人口減少・少子高齢化への対応」あたりがよいのではないかと思います。	・ご指摘の考え方につきましては、P12の「人口減少・少子高齢化への対応」に記載しております。 ・具体的な取組につきましては、基本計画や実施計画（アクションプラン）の中で記載予定としています。
④	・第1章3の「市の現状」、4の「市民の意見」と、5の「今後のまちづくりの主な課題」の関係性が読み取りづらいため、5の課題がどのような背景から主な課題として導出されたかがわからず、唐突感のあるように見えました。5の主な課題をどのような考えから導出されたかがわ	・第3次総合計画は、今までの総合計画とは違って、できる限り言葉を少なくする方針で策定していることもあり、関係性が分かりにくくなっていると思われます。 ・第1章のタイトルの変更、節の関係性や、第1章と第2章との関係性に

	かる内容（説明）を追記してはいかがでしょうか。	については、最終的な計画書としての取りまとめで調整する予定です。
⑤	・同様に第1章5の「今後のまちづくりの主な課題」が第2章にてどのように考慮がされているかも読み取りづらいと感じました。	
⑥	・第2次総合計画にて実現してきたことや、引き続き実現に向けて課題としていることなど、これまでの取り組みに対する振り返りや今後への引継ぎ事項というものはありませんでしょうか。これまでの計画における成果や課題も次期総合計画の重要なインプットになるのではないかと考えます。	・具体的な取組等につきましては、基本計画や実施計画（アクションプラン）等で整理する予定です。
⑦	・SDGsについて、P18の「自然・環境」の項でふれられてますが、これは持続可能な開発目標として基本構想全般に関わる課題だと思います。以前、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」懇話会の座長も、SDGsの目標達成に取り組むまちであるということが一つの特徴になると発言されていたので、基本構想なり下位計画でSDGsをどう取り扱うかは検討課題だと思います。	・P18で記載しているとおり、「自然」が地域の誇りであることは間違いなく、そのため、第3次総合計画では『自然・環境』の分野としています。 ・SDGsにつきましては、総合戦略や基本計画の中で具体的に考え方や目標を示していく予定です。
⑧	・P20「子ども・教育・人権」について、P12で課題として「こどもまんなか社会の実現」があげられ、P21のアンケートでも「出産や子育てがしやすく子どもたちが明るく育つまち」がのぞむ将来像第一位であることを踏まえると、P20の姿勢の説明文の中に、子どもから大人まで全般的なこととは別に「安心の子育て支援」に特化した記述があればいいかと思っています。	・「将来像を実現するために大切にしたい姿勢」における各ページの最初の説明文は、分野全体の考え方を示しています。 ・ご意見を踏まえ、もう少し子育て支援のイメージが伝わるように、『子どもから大人まで、全てのひとの育ちと学びに寄り添い、ともに育み合い成長し、誰もが尊重されるまちをめざします。』に修正します。
⑨	・P24の「自然・環境」について、下段の文章に「人間生活や産業活動と、自然の保全が「共生」するため・・・」とありますが、これら人間等の活動と「自然の保全」の「共生」を目指すのでしょうか。自然の保全も人間活動によるものであり違和感を感じます。	・ご意見を踏まえ、『私たち人間の生活や産業活動と、自然が「共生」するためには、人間が知恵を絞って、・・・』に修正します。 ・最適な調和（バランス）のとれた状態に「ととのえていく」という、能動的な姿勢に、自然の修復・保全に

	「自然とのバランスをととのえる」姿勢は了解しますが、前提として市民のみなさんの意見にもある損なわれた自然の修復・保全に取り組む姿勢が欠かせないと思います。 また、この環境に係る項で、P12の課題の一つカーボンニュートラルに触れなくていいのでしょうか。 (P26の産業、経済の項でもいいのですが)	取り組む姿勢も含まれると考えています。 ・脱炭素、カーボンニュートラルについては、基本計画の中で具体的に記載する予定ですが、分野のテーマも【自然・脱炭素・環境】とします。
⑩	・P28「暮らしの土台」について、市内の交通インフラ整備が課題の中で、イラストの新幹線の絵よりも乗合自動車など身近な交通機関が適当と思います。	・持続可能な都市構造の実現に向けて、新幹線駅は重要な要素だと考えます。 ・また、身近な移動を支えるバスについては、P28の上のイラストに記載をしていますが、もう少し、分かりやすいイラストにブラッシュアップします。 

2. 第3次米原市総合計画策定に関するアイデア・提案と対応案

	意 見	回 答
①	・今後10年後の社会情勢を見据えた場合、最大のキーワードは「人口減少、少子高齢化」である。このままでは、米原市も人口減少が加速し、しかもこの頃「団塊ジュニア世代」が65歳以上となり、高齢者がピークに達すると予測される。今後、出生率が上向いても、現役世代の女性の数は減り続けるため、生まれてくる子どもは増えない。現在の人口を維持するには出生率2.08以上が必要だが、米原市の出生率は1.45(p.21)となっている。これは今後も出生数は経年的に減少していくことを意味している。これを見越した基本計画が必要だ。	・ご指摘の考え方につきましては、P12の「人口減少・少子高齢化への対応」に記載しております。 ・頂いたご意見を踏まえ、今後の基本計画、実施計画(アクションプラン)を検討していきます。

②	・これから数十年は高齢者が増え、現役世代は大幅に減っていく。人口減少と年齢構成の急激な変化は避けられないということだ。これは市の財政にも大きくかかわることで、厳しい財政状況のもと、市民の負担増は避けられないということを意味する（財政状況の厳しさについては p. 30 で指摘されている）。ここから明らかなことは、これまでの延長線上にある政策では、これから訪れる変化には対応できないということである。肝要なことは、近未来に訪れる人口減少社会の青写真を描き、これまでの成長を前提にした拡大志向から、「適合」と「成熟」を目指した政策へと転換することだ（これについては p. 1 に記述）。	・ご指摘の考え方につきましては、P12 の「人口減少・少子高齢化への対応」に記載しております。 ・頂いたご意見を踏まえ、今後の基本計画、実施計画（アクションプラン）を検討していきます。
③	・特に現役世代の大幅減少は、自治体職員の大幅減少を結果する。今までよりも少ない人員で、業務に対応することが求められる。もちろん米原市も例外ではない。ここで明確なことは、少ない職員で現状の業務に対応することは極めて困難だということだ。少ない人員でも業務に対応できる新たな仕組みづくりが求められる。	・頂いたご意見を踏まえ、今後の基本計画、実施計画（アクションプラン）を検討していきます。
④	・人的・財的資源が先細りになる中で、実施するに値すると思われるものの一つが、「スマートシュリンク（賢く縮む）」である。その具体的なものが基本構想（案）の中にも書かれている。例えば、「5. 今後のまちづくりの主な課題」の「多様な主体との連携・協働の推進が必要」「DX の推進による課題の解決」（p. 13）に記載されている。前者では「各主体間での連携の強化」（コラボレーション）、「米原市に係わり続ける人口の増加」（関係人口、交流人口など）、後者では、「デジタル技術の活用」による行政事務作業等の効率化などがそれである。	・頂いたご意見を踏まえ、今後の基本計画、実施計画（アクションプラン）を検討していきます。

⑤	・今一つが、2040 年を想定し、人口減少への対応を検討した有識者研究会の「2040 年研究会」が政策提言し、第 32 次地方制度調査会で検討されている「圏域」に係わるものである。これは、中心都市と近隣の自治体による広域の「圏域単位」で行政サービスを進める法整備だ。これには「公共施設の統廃合など『痛み』を伴う判断に向けた合意形成の仕組みづくり」や「小さな自治体の独自性が失われないか」という論点が含まれている。政府はこれを新たな行政単位と位置付け、将来深刻になる人口減少に対応するとしているが、他方で足腰の弱い小規模の地方自治体の事実上の廃止につながる可能性もあるので、一概に賛同するとは言えないが、参考に値すると思っている。単一市町村を超えた圏域単位の行政サービスは現在も存在するが、公共施設の共同利用など緩やかな連携にとどまっている。例えば、人口 5 万人程度の中心市と近隣市町村が連携する「定住自立圏」がそうである。しかし、今後 10 年の将来展望を考えた場合、既にみたように非常に厳しい近未来が到来すると、一つの自治体でフルセットの行政サービスを提供することはほぼ不可能であることが容易に想定される。そうなれば、近隣市町村の連携を強化することが必要になる。近隣自治体がそれぞれ得意な分野のサービスを提供することも選択肢に入る。そのための制度設計が必要になるが、それを総合計画の中に盛り込むことも一案かと考える。「幸福を追求する」「挑戦する」「つながる」という基本理念にも合致すると思うのだが。	・頂いたご意見を踏まえ、今後の基本計画、実施計画（アクションプラン）を検討していきます。
⑥	・計画を策定して終わりにならないように、どのように実行・評価をしていくか。また、その過程で、市民がどのように関わっていくのかも計画段階で示すことで、実行と成果	・頂いたご意見を踏まえ、今後の基本計画、実施計画（アクションプラン）を検討していきます。

	に繋がる計画作りに繋げていくことも前提に今後の検討ができると良いと考えます。	
--	---	--

【WEB アンケート調査】第3次米原市総合計画『基本構想案』に対する意見と対応

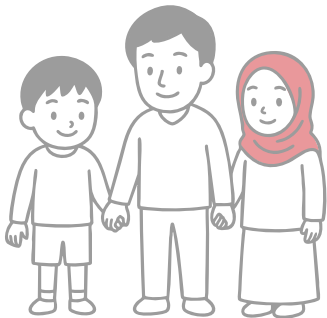
1. 将来像

	意見	対応の可否
1	・笑いより微笑み、あなたもわたしも微笑み、幸せが生まれるまち、は、どうでしょう？ ・しずくは、何っと思えることで興味を持てるきっかけで、私は賛同します。	・頂いたご意見を踏まえ、より良い基本構想にしていきます。
2	・協働を明確に掲げることに共感します。挑戦しやすい風土を醸成しようとするビジョンにも賛同します。しかし、少しマッチョな印象も受けましたので、失敗を認め合えるや、失敗しても挑戦を讃える等といった文言もあると良いのではないかと思います。	
3	・米原市内では知らない者同士も行違うときに挨拶を交わしている 日本一挨拶が飛び交う市になることで、不審者予防ができる市になる	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
4	・米原学区に図書館をつくってほしい	
5	・県道 17 号線の延長と幅の拡大	

2. 大切にしたい姿勢

(1) 【子ども・教育・人権】ひとの`生きる、をみんなで優しく育みあう

	意見	対応の可否
1	・共感しますが、たくましさを育む事も盛り込めたら、と思います。	・頂いたご意見を踏まえ、より良い基本構想にしていきます。
2	・まず、先生方の働く時間、環境を整えることだと思います。夜遅くまで残っておられたり、昼休みも取れないなど、先生が働きにくい状況では、子どもたちに力を注ぐことが困難だと感じています。	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
3	・個性を大切にし、違いを認め合える風土が醸成されると良いなと思います。その為には対話の機会が今より増えることは大事だと思います。自由の解釈が、個人主義を強化したような自由至上主義になっては目指す未来像とはかけ離れてしまうと思いますので、苫野一徳氏がされている哲学対話や本質観取の時間を小学校の授業から取り入れていただきたいです。大人向けには講座の開設やワークショップを開催するなど、プログラム化して受講できるようにすることを望みます。	

4	・イラストにも外国人や車椅子の人等も入れて、多様性が一目でわかるようになると良いのではないのでしょうか	・頂いたご意見を踏まえ、イラストにつきましては引き続き、精査を行い、より良い基本構想にしていきたいと思います。  
5	・不登校やまた集団登校に間に合わず学校に行けない子どもたちへの移動支援の検討（介護事業所の送迎者の活用等）	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
6	・米原学区に図書館をつくってほしい	
7	・これらの政策が一部の団体の利権にならないことを望みます。	・頂いたご意見を踏まえ、より良い基本構想にしていきたいと思います。

（２）【福祉・防災】`自分ごと、として備え、みんなで支え合う

	意見	対応の可否
1	・福祉については、自分ごとではなく、皆ごとにしないといけない	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
2	・外国人の方も多く住まわれています。日本語が十分に分からない方にも、情報が行き渡ること。通訳など、サポートする方の人数、支援体制が十分であることにも、予算を割いていただきたいです。	
3	・やはりイラストが健常者だけなのが気になります。東日本大震災でも障害者は後回しにされました。避難所へ行っても煩いと言われたりするので、自宅や元の施設等に戻らざるを得なかったと聞いています。イラストに多様性を導入する等、普段からマイノリティを意識して配慮を忘れない仕組みづくりが大切だと思います。	・頂いたご意見を踏まえ、イラストにつきましては引き続き、精査を行い、より良い基本構想にしていきたいと思います。

4	・町の助け合い補助券制度⇒例えば 朝夕の子どもたちの見守り 公的施設の清掃 公的施設の修繕 公的行事のボランティア活動を行った際に、街のコイン的な活用ができるなど市民同士の助け合いができるシステムができないだろうか。	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
5	・自治会活動を活発にすること	
6	・県道 17 号線の延長と幅の拡大	

(3)【自然・環境】豊かさを感じ、自然のバランスをととのえる

	意見	対応の可否
1	・今ある自然をどのように活用したり維持できるのかみんなで話し合うことが必要だと思います	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
2	・家族で利用できる、自然体験の機会を増やして欲しいです。また、物の交換がしやすい仕組み作りを希望します。	
3	・伊吹山の現状について、学びに行かなくても学べる機会が増えれば良いと思います。伊吹山の保全活動をされている方々を市内の小中学校に派遣し、生徒・保護者・地域住民向けに開かれた情報共有と改善へ向けた協働へと繋がるような学びの場を望みます	
4	・伊吹山登山再開してほしい	
5	・伊吹の水源の里を 自然あふれる国定公園のような指定区域ハイキングコースができないだろうか？	
6	・地域のゴミ拾いなどを日を決めて行う	
7	・県道 17 号線の延長と幅の拡大	

(4)【産業・経済】恵まれた風土を楽しみ、にぎわいとなりわいを生み出す

	意見	対応の可否
1	・自然を活用した新しいビジネスをどんどん作っていく	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
2	・今はスタートアップが流行っていますが、10年を見通すと、ベーシックインカムも現実味が帯びていると思います。今ではユニバーサルハイインカムも聞こえてきます。その実現可否は抜きにして、収入の為に働かなくても良くなった時にどのような米原市であるといいか？どうあれば居心地が良い、生きている充実感や幸せを感じられる市でいられるか。職業体験に積極的な企業や、体験そのものをサービスとしている企業の誘致で、市内の子	

	供達の体験格差を無くす、そのような子供達へ投資する経済の流れを加味していただきたいです。ゆえに風土を現在の感覚で楽しむのではなく、慈しむという表現がしっくりきます	
3	・ 伝統文化 多和田の綿 上丹生の仏壇等 体験型観光と交流で伝統文化を繋げていく	
4	・ 駅前をもう少し豊かな場所にしてほしい	
5	・ 県道 17 号線の延長と幅の拡大	

(5) 【暮らしの土台】 まちと暮らしをともに支え合い、安心を灯し続ける

	意見	対応の可否
1	・ 世代間の交流ができる機会が欲しいです。	
2	・ 岐阜市のように自動運転の実用化に向けて取り組んでいただきたいです。車で移動したい人がアプリで自動運転の車が呼べるようになる可能性は高くないでしょうか。マイカーを使わない隙間時間に、利用者から最も近い車が自動運転で送迎に行き、所有者の収入になる。そんなことを考えている企業は多いと思いますので、一緒に交通難民を解消する社会実験も可能ではないでしょうか。 ・ また、市内の駅を全てバリアフリーに出来るように企業と協力しあっていただきたいと思いました。 ・ 大野木地区のような取り組みや、コミュニティーナースのような取り組みを始めたいと思っている人や組織への支援もあると良いのではないのでしょうか。なのでそういったことが文言に追加されると良いなと思います	・ 頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
3	・ 地産地消を進める活動をする	
4	・ 県道 17 号線の延長と幅の拡大	

(6) 【協働・地域経営】 まちの明日をつむぐため手と手をつなぐ

	意見	対応の可否
1	・ つむぐって言葉が好きです。	
2	・ まちづくりイベントを開催しても顔ぶれは同じ、パブコメを募っても顔ぶれは同じ、にはなるとは思いますが、学校教育・コミュニティスクール制度等、今ある手段を組み合わせ若くは人の声を拾い上げる仕組みづくりをお願いしたいです。例えばポケモンゴーのようなゲームを市民と一緒にバイブコーディングで作る、マイクラで米原市を作る、なんてイベント	・ 頂いたご意見を踏まえ、より良い基本構想にしていきたいと思います。

	だと子供達や若い人の声も集められそうだと思います。 ・こういったタウンミーティングを開催していただけること自体が希望を持てます。楽しいですし、市外の人にも自信を持って紹介できます。パブコメの数が少なかったとしてもめげずに続けて欲しいです	
3	・協働・地域経営は大切です。自立も大切であるとも考えます。	
4	・財政難の文面を読んで、米原市未来貯金みたいなことは始められないだろうか？と思いました。トークンエコノミーxふるさと納税のようなものです。プラットホームはフィナンシェを利用し、米原市トークンを作成。トークン保有者は市内企業の限定商品を優先的に購入可能などのインセンティブを付与したりする。コミュニティベースなので市外にも波及効果が期待でき、市が運営に関わることで浸透も早まるのではないかと思います。 ・台湾では国民の合意形成を促す目的で pol.is というオープンソフトが使われています。米原市でも実用化に向けて社会実験していただきたいです。	・頂いたご意見につきましては、具体的な取組に関して参考とさせていただきます。
5	・市民が参加できる催しをする	

3. その他のご意見

	意見	対応の可否
1	・今回のWSは、時間が無さすぎのようです。これからの米原市の将来構想(最重要計画)と言っているのに、熟議がされていない。(熟議はこれからですか?) 意見等が十分に出尽くしたとは思えない。(付箋がたくさん貼られたから意見が沢山あったとするのは錯誤) 間口が広いのだから、それなりの時間を取るべきだと考えます。	・頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。